

Gekkan Probowler



00 eRETRO 00

2008.10.8 ON SALE!

1988～1993年くらいに盛り上った初期レイブシーンにおける、アシッドハウス、ハードコアテクノなどのフロアトラックを月プロ流のオマージュとテクノの原点回帰をテーマに現代風且つポップに仕上げた意欲作。「テクノとはこうあるべき」という硬派なアプローチの基に作られた本作は昨今のテクノには無いストレートなリズムとメロデックな展開が象徴的で、そのレトロな感じが逆に新しい。BPMも当時流行っていた早目の150BPMで全曲を統一！レイビーなシンセ、マヌケなリフ、哀愁漂うフレーズ！全部ひっくるめてキャッチーな月プロ・ワールド全快のポップテクノに仕立てたニューアルバム！！FreeTEMPOこと半沢武志氏全面プロデュースでデビューした期待のニューカマー、SAWAをゲストボーカルに迎えたリード曲「SUMMER OF LOVE」、架空の宇宙少女NANAのボイスが絡む「EYES」、疾走感あふれるメロデックトランス「Twinkle Linda」「Rankdown」初期RAVE/TECHNO直系の「BUZZER BEATER」「1993」など、全12曲収録。



PROFILE:

メンバーは、7番(佐々木喫茶)、8番(岸達哉)、9番(ヤスキタ)からなる3人組みエレクトロ・ユニット。骨太なフロアトラックにポップでキャッチーなメロ、上げまくるライブパフォーマンスで各地のフロアを揺らしている。1993年、8番(岸達哉)を中心に中学校からの同級生と結成したのが始まり。その後メンバーの変遷を重ね1996年、同じく同級生だった9番(yaskikuta)がアメリカより帰国し、本格的活動を始める。都内を中心に多くのクラブイベントにてライブ活動を行い、「dotechno!」を始め多くの自主イベントも開始。そして2004年に、ファーストアルバム「テクニコ」をELECTRIC PUNCHESレーベルよりリリース。クラブ、イベント、ラジオ局、雑誌媒体など各方面より注目を集め、高セールスを記録した。その後クラブユースとしてリリースされた、2枚の12インチシングル「LAST SONG E.P.」「TECHNIKOV E.P.」は多くのDJにプレイされた。2005年2月にはセカンドアルバム「テクニコ」がリリースされ、ファン層を拡大。2006年には、伝説のテクノバンド「ギャクセツゾウ」の首領、佐々木喫茶をメンバーに迎える。2007年9月、3rdアルバム「ディスコウォーズ」をリリース。原点回帰ともいえる'90's初期テクノをキーワードに作られた4THアルバム「eRETRO」が満を持してのリリース。

形態	規格番号	ジャンル	タイトル / アーティスト	ご注文数	レンタル
CD	HECE-1004 税込価格 ¥2300 税抜価格 ¥2190 2008.10.8 POS コード	ディスコ エレクトロ ポップス	eRETRO/Gekkan Probowler (エレクトロ/月刊プロボラー) 収録曲名：サマーオブラブ/ランクダウン/トゥインクル リンダ/Eyes/ バスケットケース/Buzzer Beater/1993/スティーフ&テリー/Love is Overdrive King Conga/ヒカリノホテル/他1曲(全12曲)		L